

CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学
学報

JANUARY
2022
NO. 117

contents

造大祭特集 造大祭の表と裏
話題人 造大祭実行委員会
大学トピックス
講演会 & シンポジウム
地域連携
学力充実のために
新スタッフ紹介
未来創造寄付金
附属高等学校と高大連携
Information



きわめる。拓く。創り出す。
NAS 長崎総合科学大学
Nagasaki Institute of Applied Science

CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学学報 No.117 2022年(令和4年)1月
編集・発行 長崎総合科学大学 総務企画課 〒851-0193 長崎県長崎市網場町536 TEL.095-838-5131 https://nias.ac.jp/

2022(令和4)年度 入試のご案内

■大学入試案内

項目	一般選抜			共通テスト利用選抜			総合選抜
	I期	II期	III期	I期	II期	III期	
出願期間	1/6(木) 1/31(月) 必着	2/14(月) 3/8(火) 必着	3/14(月) 3/22(火) 必着	1/6(木) 2/4(金) 必着	2/14(月) 3/11(金) 必着	3/14(月) 3/24(木) 必着	9/1(水) 3/17(木) 必着
試験日	2/5(土)・2/6(日)	3/12(土)	3/24(木)	—	—	—	2/6(日)、3/12(土)、3/24(木)
合格発表日	2/16(水)	3/18(金)	3/28(月)	2/16(水)	3/18(金)	3/28(月)	2/16(水) 3/18(金)、3/28(月)
入試科目等	2科目 ◎1時間目(下記科目から1科目選択) 国語(国語総合)(近代以降の文章) 理科(物理、化学、生物) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅰ + コミュニケーション英語Ⅱ) ◎2時間目 数学		数学および面接 ◎1時間目 数学 ◎2時間目 面接	4科目(工学部)または3科目(総合情報学部) 1. 国語(近代以降の文章) 2. 地理歴史・公民 (世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、[倫理、政治・経済]) 3. 数学①(数Ⅰ、数Ⅰ・数A) 4. 数学②(数Ⅱ、数Ⅱ・数B、情報関係基礎) 5. 理科②(物理、化学、生物、地学) 6. 外国語(英、独、仏、中、韓)[英語はリスニングを含む]			プレゼンテーション 面接
試験場	本学、佐世保、五島那覇、鹿児島、宮崎大分、熊本、佐賀福岡、松山、広島大阪、東京	本学、鹿児島福岡、広島大阪、東京	本学	—	—	—	本学
検定料	28,000円			13,000円			30,000円

学費サポート制度(特待生制度・優待生制度)

特待生 A1 授業料を全額免除(4年間)

国立大学よりも安い学費
共通テスト利用選抜または一般選抜(I期・II期)にて選考
対象 人物に優れ、成績上位の者 ※成績不良等で取り消し有

特待生 A2 授業料1/2免除(4年間)

共通テスト利用選抜または一般選抜(I期・II期)にて選考
対象 人物に優れ、特待生A1に次ぐ成績上位の者 ※成績不良等で取り消し有

特待生 B1 授業料を全額免除(4年間)

国立大学よりも安い学費
総合選抜にて選考
対象 高度な特技・資格を有し、それを本学で発揮しようとする者 ※成績不良等で取り消し有

特待生 B2 授業料1/2免除(4年間)

総合選抜及び外国人留学生入試にて選考
対象 高度な特技・資格を有し、それを本学で発揮しようとする者又は外国人留学生で成績優秀な者 ※成績不良等で取り消し有

■大学院入試案内

工学研究科 修士課程/博士課程

令和4年4月入学者(二次募集)	
願書受付期間	2/7(月) 2/18(金) 必着
学力試験(修士課程のみ)	3/1(火)
面接	3/2(水)
試験場	本学(詳細は受付後通知)
合格発表	3/8(火) 大学院掲示板
入学検定料	30,000円

■附属高校入試案内

試験種別	特別入試				一次入試(併願)	二次入試(専願)
	一般推薦試験(専願) A・B特待	スポーツ文化活動推薦試験(専願) A・B特待	専願試験 B特待	併願試験 一般		
試験種別	—	—	—	—	一般	一般
出願期間	12/16(木) ▶ 1/12(水) 必着	—	—	—	1/24(月) ▶ 2/4(金)	3/7(月) ▶ 3/16(水)
試験日	1/20(木)	—	—	—	2/9(水)	3/17(木)
会場	本校	—	—	—	本校	本校
試験科目	基礎学力検査(国・英・数の総合問題)・個人面接				基礎学力検査(国・英・数)・個人面接	作文(600文字程度)・個人面接
合格発表	1/24(月)	—	—	—	2/14(月)	3/17(木)
受験料	12,000円	—	—	—	12,000円	12,000円

テレメールで資料請求

本学募集要項と入学願書は、テレメール(電話・インターネット)でも請求できます。
電話またはインターネットでテレメールにアクセスし、ガイダンスに従って請求してください。

自動音声応答電話

050-8601-0101

資料請求番号: 210377

インターネット

http://telemail.jp

※パソコンスマホケータイ共通

バーコード利用

スマホ等から

読み取ってください。



きわめる。拓く。創り出す。
NAS 長崎総合科学大学

〒851-0193 長崎県長崎市網場町536
Tel : 095-838-5121 / Fax : 095-839-3113
E-mail : adm@nias.ac.jp
入試課 0120-801-253(フリーダイヤル)
ホームページ <https://nias.ac.jp/> [f @nias.ac.jp](https://www.facebook.com/nias.ac.jp) [@nias](https://www.instagram.com/nias)

第57回 造大祭 【Main story】

日見幼稚園の園児が晴れの舞台で力強く。

物作りって楽しいな〜。

造大祭楽しんでま〜す。

お姉さんおまけくれてありがとう〜。

吹奏楽で賑やかに出迎え。

多くの笑顔あふれた『造大祭』!

準備OK! いつでも来てイヨ。

今日は思い切り楽しみます。

ガンブラでGo!

液晶テレビ選んじゃった!

お待ちかねビンゴ大会始まるよ〜。

開催できて嬉しいけど緊張するな〜

悩む程の豪華賞品!

子ども達の視線が冷たい。スイッチゲット!

みんなで全力で演奏できたよ!

みんな仮装楽しそう! 私も楽しい〜!

きっと来るから...

ぼくを選んでくれてありがとう〜。

子ども達の視線が冷たい。スイッチゲット!

やっぱり演奏出来るのは幸せだな〜。

ゲスト審査員
コスプレイヤー 静音さん

《プロフィール》




仮装も演奏も100点!

新たな自分! コスプレ楽しい〜。

入賞できたぞ〜。ありがとう〜。

みんな独創的なコスプレだな。

思い出に家族で参加! めざせ入賞。

I Love Bon Jovi

動画見てね



造大祭記念 ダンスコンテスト2021開催 〜音なくしてダンス〜

【第1位】
長崎県立長崎東高等学校ダンス部
部長&部員
タイトル:「少女の嘆き」

【第2位】
日本舞踊教室 銀扇会 花柳 太閤理
テーマ:「鶴の港」

【第3位】
幼稚園生 ☆ちゃん
タイトル:「BTS踊ってみた」

【審査員特別賞】
家犬 ボム 一歳半
タイトル:「美しくすぎて君が怖い」

ドローン操縦体験ではみんな真剣。

工作は子ども達に大人気!

盛り上げてやったぜ〜

話・題・人

Close-up People
造大祭実行委員会のみなさん



造大祭成功の陰には、多くの方の協力と関係者の努力と情熱がありました。



実行委員長(神尾直希さん(3年)) 笑顔の時間をありがとう!

造大祭準備や作業に参加してくれたみんなに、新型コロナウイルス感染症対策のため飲食販売中止という条件の中、たくさんのアイデアを考えてくれたこと、来場者の方を温かく迎えてくれたことに、「ありがとう」を言いたいです。また、コロナ禍において沢山の笑顔を見れた造大祭を開催できたことが本当に良かったです。

ハロウィン仮装コンテストスタッフ やればできる!

塩崎 一さん(2年)、西野 有希さん(2年)、田嶋 佑梨さん(2年)、安藤 彰一さん(1年)、高木 啓邦さん(1年)
事前申し込み時点で4人しか集まっていなかったのが無事に終わることができるのか不安でしたが、当日参加の申し込みが多くあり、安心し、嬉しかったです。仮装コンテストに長総大卒業生でもある静音さんにご参加いただき、来場者に本格的なコスプレを楽しんでいただけたのではないかと思います。

お化け屋敷スタッフ 恐怖の8号館を無事に抜け出せるか!

宮原 海斗さん(2年)、香月 周さん(2年)
今回の造大祭にて8号館の2階3階を使って「お化け屋敷」を行いました。お化け屋敷の運営メンバーが2日前まで集まらないという事態になりましたがなんとか当日に実施でき好評だったという報告を受けました。前日、当日と準備でバタバタした部分はありましたが無事開催でき、運営を手伝っていただいた学生の皆さんありがとうございました。

ビンゴ大会スタッフ 出し惜しみ無し

川元 うららさん(4年)、西尾 育観さん(2年)、旗先 正敬さん(2年)、幸 聖弥さん(2年)、島田 朋哉さん(2年)、下山 竜生さん(1年)
今回の造大祭のビンゴ大会は例年以上に豪華な景品を揃えようと実行委員で話し合い、色んなところから景品を集めました!そのおかげもあってか、大勢の来場者に来ていただき楽しんでいただけたので良かったです。

職域接種を実施しました!

感染の終息が見えない中で「学生の安全を第一」に教育活動の維持・継続のために新型コロナワクチンの職域接種を行いました。たちばなペイクリニックの支援を受け、医療工学コースの教員、学生の全面的な協力のもと、本学キャンパスにおいて、1回目(7/10・11・17)、2回目(8/10・11・13)の職域接種を実施しました。学生、教職員に加え、近隣の小・中・高校の教員、地元企業などを含め、約1,200名の接種を完了。本学における接種率は(他の職域接種者は除く)、学部生74%、大学院生66%、教職員74%でした。造大祭開催までに感染者はなく、造大祭を無事に迎えることができました。

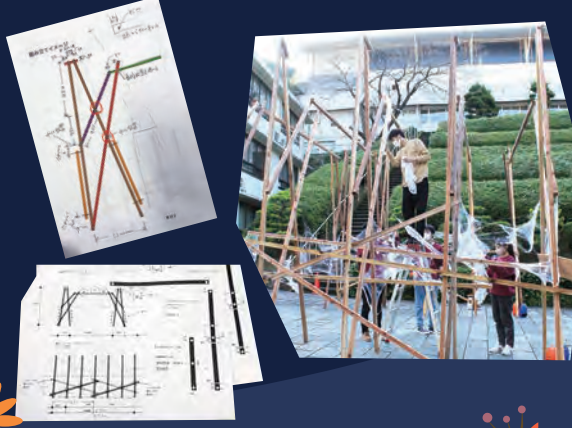
自動体温計 体温チェックで感染予防!

長崎総合科学大学後援会から新型コロナウイルス感染予防対策として、アルコール消毒機能付き自動体温計7台が寄贈されました。図書館や食堂、学内の各建物に設置しました。もちろん、造大祭でも大活用!



裏方頑張りました!

アーチのテーマは「ハロウィン」。今年は模擬店がないので存在感を出すために、5人の建築学コースの学生が2週間かけて、4メートルの角材を100本近く使い、高3.9m×幅4.5m×奥6.9mのアーチを作成しました。いざ、アーチ制作を始めると、時間や人手が不足、また、途中で設計の見直しが必要になるなど想像以上に大変でしたが、同級生や先輩がたの力を借りての作業は、やりがいや達成感を感じました。次の造大祭では、更により良いものを制作したいと考えています。



佐世保北中学校の皆さんが来校(10月19日)



県内の最先端技術や異文化理解研究の最前線の現場を訪問し、そこでの研究や開発に取り組む人々と接することで、視野を広げ、将来の進路選択の指針とさせるとともに、新たな自分を発見させることを目的として、来校。

長崎総合科学大学学生ビジネスプランコンテスト(9月23日)



「長崎を創る。」をテーマに、ビジネスプランコンテストを本学にて開催。新規性、独創性、地域貢献度、学生の熱意等を総合的に審査し、長崎外国語大学の「クッキー3姉妹」(女子学生3名)の『空き家をコミュニティで再生』がグランプリ賞を受賞。



最優秀賞 『これなあに?~暮らしに緑と安心を~』
大阪市立都島工業高等学校(2年) 織田 真帆 さんの作品

第24回全国高校生設計アイデアコンテストを終えて

コロナ禍に負けることなく、第24回目の全国高校生設計アイデアコンテストを予定どおりに終わりました。課題と講評は大学ホームページに公開されているので、ぜひご覧いただきたい。参加される高校の数は徐々に増えてきたことは大変喜ばしいことであり、そして、レベルの高さも目を見張るものばかりで、エネルギー溢れた提案には感謝したい。このコンテストは大学と高校との交流を深めるツールになっていることを実感し、今後は普通高校からも参加しやすいように工夫して、アイデアの競い合う場を広げ、引き続き交流の輪を大きく作っていきたい。



CM出演 長崎の多彩な歴史。可能性を引き出す。

全国に放映されるテレビCMへの出演依頼が長崎市役所から来ました。CMは街づくり事業を担う企業のPRとして、長崎の街の魅力や街に住まう人の想いにフィーチャーされています。本学での撮影は10月の2日間に渡り、3号館の361教室や屋上などで行われ、学生も抜擢されました。撮影した映像がスタイリッシュな30秒にまとめられ、収録中に長々と続いていた私の発言も、「長崎の多彩な歴史に注目してその大きな可能性を引き出してほしい」という呼びかけに集約されました。



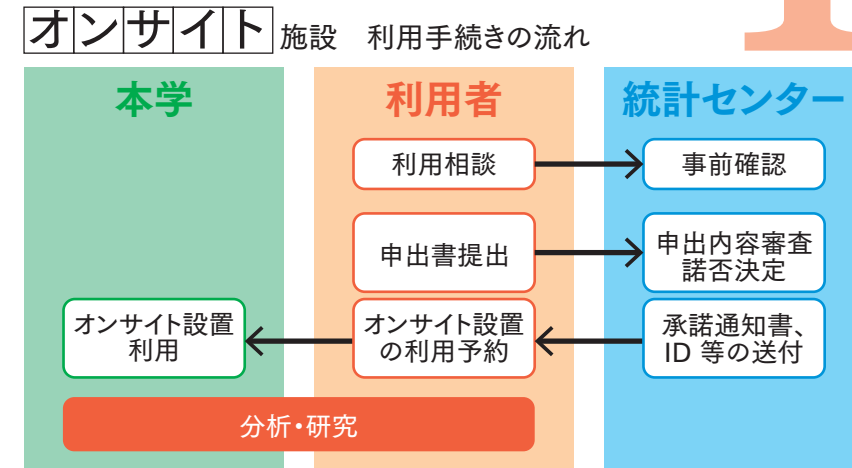
動画の視聴は
こちらから



出演:ブライアン・パークガフニ教授(記事)、小川 真季さん、高見佳奈子さん、他本学学生

九州初! 公的統計オンサイト施設を開設します。

公的統計の調査票情報を用いて独自の集計・分析を行うことができるオンサイト施設を、令和4年3月に九州で初めて開設し、内閣府が推進する「EBPM(エビデンス・ベスト・ポリシー・メイキング)=根拠に基づく政策立案」の多面的な展開拠点を目指します。各省庁が実施した統計調査の結果は、ホームページ等を通じて広く利用できますが、オンサイト施設では、調査対象の秘密保護を図ったうえで、世帯単位や事業所単位など集計する前の調査票情報(マイクロデータ)の提供を受け、公益性のある学術研究等に



入退室管理や監視カメラを備えた専用室

活用できます。マイクロデータ利用を希望する研究者は、総務省所管の独立行政法人「統計センター」に利用申請書を提出し、審査で認められると、オンサイト施設内で閲覧、研究できます。本施設により、本学のデータサイエンス教育・研究の水準向上とともに、九州で初のEBPMの拠

点として学術的かつ戦略的に地域課題の考察を深めることが期待されます。

オープンイノベーションセンター
オンサイト施設
TEL:095-838-5116 Mail:suisin@NiAS.ac.jp

独立行政法人統計センター
利用案内WEBサイト



スイートコーンの収穫

生命環境工学コースでは卒業研究で行なっている栽培試験の一環として、スイートコーンの収穫を行いました。予想外の長雨のため食用にはできず残念でしたが、栽培試験としての結果は得ることができました。本コースでは農学部の無い長崎県の大学にあって、農芸化学の専門科目を多く履修できます。一方、本学にはこれまで露地栽培を行えるような圃場はありませんでしたが、2020年度からテニスコート跡地を“雲の上圃場”と名付け、その多くを手作業で開墾し利用しています。生命環境工学コースでは、農学系の研究も行える研究環境を整備しています。



2021年度前期 大学院修士課程 学位記授与式 工学部 情報学部 卒業式(9月21日)



2021年度後期 大学院 後期入学式(9月21日)



講演会&

シンポジウム



松井教授



松岡教授

「カーボンニュートラル」脱炭素社会の実現に向けて

12月12日「出島メッセ長崎」で、本学の地域貢献の一つとして毎年実施する無料の公開講演会を開催しました。

「世界で進むエネルギー転換と脱炭素」と題した基調講演は、公益財団法人自然エネルギー財団事業局長の大林ミカ氏。脱炭素の原動力となっている自然エネルギー資源を持つ長崎県の洋上風力と洋上風力産業の活用と興隆などについて講演していただきました。「海洋再生可能エネルギー利用に関する技術開発」と題した講演は、東京大学大学院工学系研究科教授の鈴木英之氏。地球温暖化と二酸化炭素排出の関係。二酸化炭素排出削減に向けた世界の取組み、カーボンニュートラル達成について技術的観点からの可能性などについて講演していただきました。さらに本学からは、「脱炭素社会における電力システムのレジリエンス強化」と題して、松井信正教授が持続可能な電力運用を目的とした、人工知能ベースのエネルギーマネジメントシステムの研究・開発について、また、「水素燃料電池船の開発」と題して、松岡和彦教授が水素を燃料にする船舶の技術動向や長崎にて基本設計を行った水素燃料電池の小型旅客船について講演しました。主催は長崎総合科学大学新技術創成研究所で、約200名が聴講しました。

講演会等	内容
2021 8/7	「都市の記憶XI」(Web講演会) 崎山 昇氏 被爆二世運動の意義と展望 —将来世代を含む核被害者の人権確立と核廃絶をめざして—
2021 10/14	Future Industry Japan (オンライン開催) 古野 弘志准教授
2021 11/20	「都市の記憶IX」 切明 千枝子氏 被害、加害、そして平和
2021 11/21	Save Gunkanjima 展 アート&シンポジウム 橋本 彼路子教授
2021 12/12	カーボンニュートラル ～脱炭素社会の実現に向けて～ 松井 信正教授 松岡 和彦教授

2011年11月1日に開業した現代の出島である「出島メッセ長崎」で、世界文化遺産「明日日本の産業革命遺産」の構成資産の一つ、長崎市の「端島炭鉱(軍艦島)の保全と活用を考えるシンポジウム」が11月21日に開催されました。シンポジウムコーディネーターは工学部工学科建築学コースの橋本彼路子教授。主催は軍艦島デジタルミュージアムを運営するユニバーサルワーカーズ、約120名が聴講しました。また今回のシンポジウムは「建築CPD情報提供制度認定プログラム」として、位置づけられていました。

Save Gunkanjima 展 アート&シンポジウム



地域連携

教育活動

本学では、地域と連携した教育活動に積極的に取り組んでいます。自らが学ぶ地域の抱える様々な現実を体感し、地域の皆さんと一緒に学生がその課題解決や地域活性化に向けた取り組みに参加すること、学生の実践力を育んでいます。なかでも長崎は「海洋県」であり、海洋環境の保全活動や実用化が進みつつある海洋再生可能エネルギーの利用に関して、本学が発信源となり啓蒙活動を行っています。

船舶工学コースでは、V・ファアレン長崎と協力し、10月2日(土)にトランスコスモスタジアム長崎にて洋上風力発電のペトポトルワーク教室を行い、30名を超える児童が教室に参加しました。また10月17日(日)には、「長崎開港450周年記念事業」の連携事業として伊王島にて水中ロボット組立教室を実施しました。児童など約70名が参加し盛況でした。



海洋教育ワークショップ
～海について知ろう・学ぼう～(10月2日)



水中探査ロボットで
長崎の海をのぞいてみよう!!(10月17日)

学力の充実のために 学習支援センター

あなたのやる気を 強力サポート!!

もう一度基礎から学びなおしたい、担当の先生に質問しづらい、もっと応用力を身につけたい、学生の声に応じて平成22年度に開設。

英語

共通教育部門

濱崎大講師 永次 健人 講師

ちょっと先生のところへ寄ってみようかな。英語、わからないところがある。でも面倒くさい、でも弱点を笑われるかも。資格や検定のために勉強したいなあ。でも高得点、合格は難しいかも。こんなデモデモ思考は、自分をネガティブにしてしまいます。ふたりの専任英語教員が、アクセス便利、景色最高の場所、ポジティブに自らを高められるよう「支援」していきます。講義にない「支援」がここに。学力アップの秘訣は、自分の中にある!



数学

学習支援センター

鎌塚洋一郎 先生

学生は造船や飛行機などの機械設計に関する授業が進むにつれて、数学の必要性を実感します。学習支援センターではマンツーマンでの確かな数学指導や見守りのある静かな学習環境を提供することをモットーとしています。学習支援センターは勉強スイッチを入れ、出来る喜びを実感できる場所です。

NEW-COMER 新スタッフ紹介

新たにスタッフとなった
教職員を紹介します。

④所属 ⑥趣味・特技 ⑦抱負など一言



持田 浩治

- ④総合情報学部総合情報学科 生命環境工学コース
- ⑥特技など 無人島での生活
- ⑦学生と一緒に、教員としても成長していきたいと思っています。

動物はなぜ鮮やかな色をしているか?

これまで私は、「色」という窓をとおして、動物のすむ世界を見てきました。動物は、なぜ鮮やかな色をしているのでしょうか?どのように発色しているのでしょうか?彼らは、鮮やかな色を見たときにどのように感じているのでしょうか?さまざまな角度で動物の色を捉えることで、彼らのすむ生態系をひもときます。ときには、ウミガメやペンギン、サルのように色にこだわらない研究もおこなっています。

《学校法人 長崎総合科学大学 未来創造寄付金》(令和2年12月1日～令和3年11月30日現在)

ご寄付を賜り、深く感謝いたします。

【個人寄付者(芳名希望者)】(敬称省略)

赤尾 聖示	久米 嘉和	蜂谷 博	俣野 善治
上野 憲一	高橋 眞司	福島 長義	松下 直樹
岡田 啓典	立石 暁	福田 和彦	松本 浩
小川 徹	永次 健人	古野 弘志	丸林 靖幸
亀谷 祥治	野口 耕	正木 和久	本村 政勝
久保 一雄	野口 博	増田 尚昭	吉田 勝久

【企業寄付者】(敬称省略)

株式会社亀山電機
株式会社コミュニティメディア
株式会社シモダアメニティサービス
株式会社十八親和銀行地域振興部
株式会社松下建設
九州教具株式会社
協和機電工業株式会社
西海陶器株式会社
本瓦造船株式会社

寄付のお申込み
お問い合わせ

長崎総合科学大学 財務課 未来創造寄付金担当
TEL.095-838-5118 FAX.095-839-0584
E-mail:mkifu@NiAS.ac.jp



High school Information

附属高等学校ニュース

第100回 全国高校サッカー選手権 長崎県大会優勝

本校サッカー部は、11月14日(日)に行われました全国高校サッカー選手権長崎県大会で、創成館高校に2対0で勝利し、2年ぶり8回目の優勝をなしとげました。

全国大会では北海道代表の北海高校に2-1で逆転勝ちして初戦(12月29日(水)駒沢陸上競技場)を突破し、3回戦ベスト16まで勝ち残ることができました。応援ありがとうございました。



学校紹介の動画がリニューアル!
YouTubeチャンネルも開設しました。
登録よろしくお願ひします。



2021年春にスタートした新コースの紹介、授業風景、部活動の様子が見られます。



令和3年度 文化祭

9月23日(木)秋分の日に文化祭を開催しました。オープニングでは長総大吹奏楽部と本校吹奏楽部による合同演奏会が披露されました。感染症対策のため模擬店の出店を取りやめ、午前中だけの日程となりましたが、2年生のクラス上演と3年生のダンスパフォーマンスで大変盛り上がりしました。



令和3年度 ETロボコンについて

10月3日(日)に行われたETロボコン2021九州大会。大学のNiASETと一緒にオンラインでの大会に臨みました。高校生はエントリークラスに出場し、結果は競技部門優勝、モデル部門がブロンズモデル、総合部門が3位でした。また、競技については全国でも7位、Rコースでは5位になることができました。



高大連携

地域ビジネスコース・企業訪問

「学び」と「気付き」

【講師】 株式会社四海樓 代表取締役社長 陳 優継 氏

「学び」とは自ら手に入れるものであり、能動的と言えます。一方、「気付き」は他人から与えられるものであり、受動的と言えます。今回の講義でどれだけの「気付き」を得られたでしょうか。地域ビジネスコースの生徒さんに期待するのは「学び」の機会にならなくて欲しいということ。これから求められる人の姿は、課題を発見し、解決を導き、その成果を実現可能なレベルに落とし込み、他者に伝達していくことができる姿だと思っています。また、個々の適性や関心、意欲に応じた育成と地域価値を高めるための試みとして高校と大学の双方のこ

講義を受けて

長崎総合科学大学附属高等学校 地域ビジネスコース1年

山井つばき

私は「恩送り」という言葉が今でも印象に残っています。「恩返し」は受けた恩を他の誰かに送るということ。陳社長から教わりました。「恩返し」は「対一」ですが、陳社長がおっしゃった「恩送り」は「対一」だけでなく「対二、三、四、五」と二人からたくさんの人々に



コミュニケーションである高大連携にも期待をしています。今回の講義がお役に立てれば幸いです。

良い影響を与えらることもできて行きたと感じました。この「恩送り」の心は、社長という組織を率いる立場であり、組織を支える責任者だからこそ持っているものなのだと感じました。私達高校生も、「恩送り」の心を持って過ごす周囲に良いことが広まり、より充実した生活がおくれそうです。陳社長の「恩送り」というとても素敵な言葉は、私の心に残り続けていくと思います。

